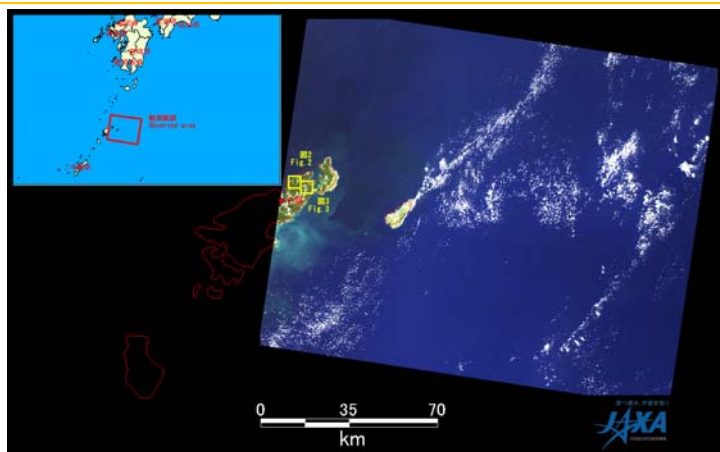
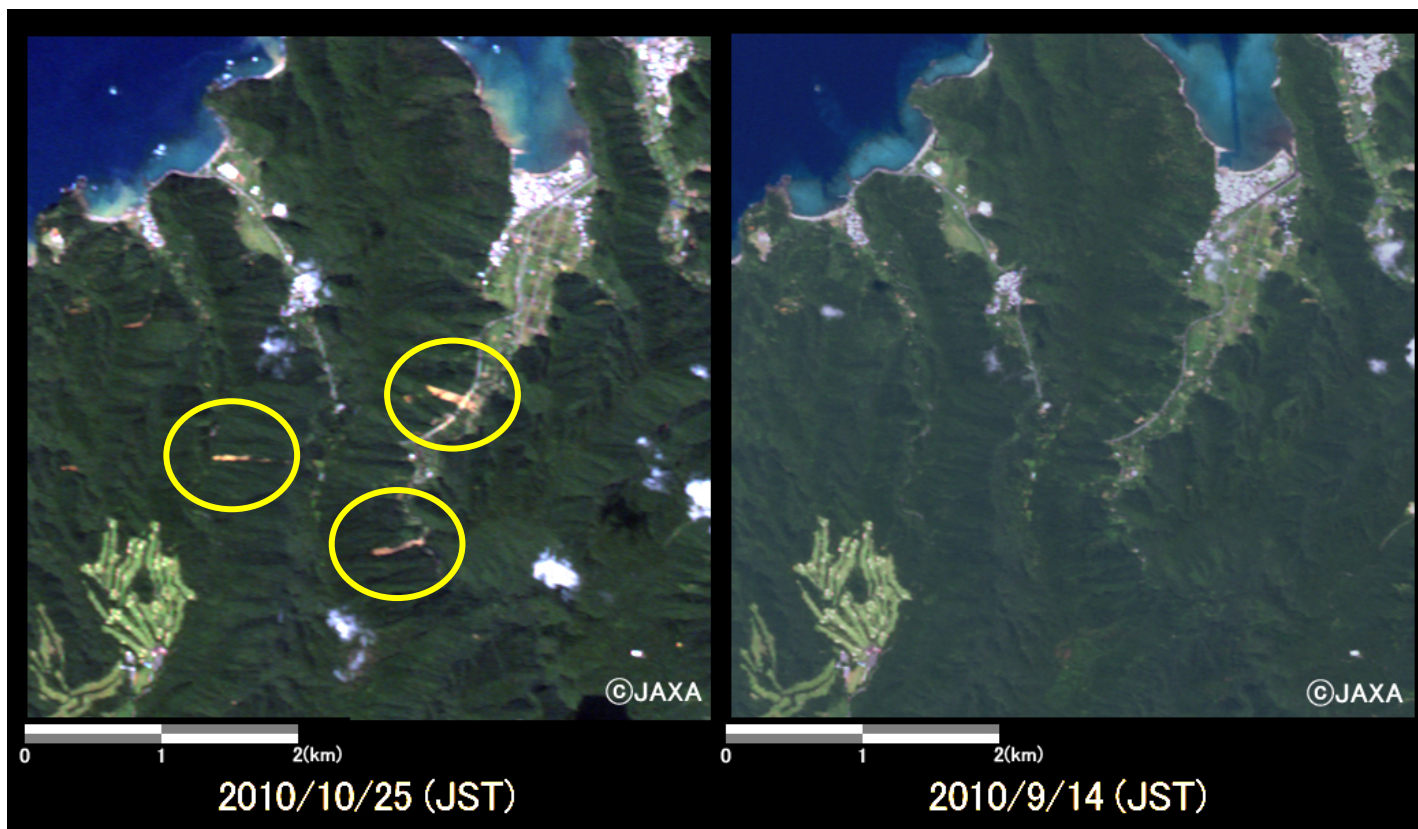


「だいち」が捉えた 奄美大島の集中豪雨

2010年10月20日から奄美大島全域で局地的な豪雨が降り、各地で大雨にともなう災害が発生しました。JAXA では、10月25日午前10時35分(日本時間)頃に陸域観測技術衛星「だいち」(ALOS) 搭載の高性能可視近赤外放射計2型(アブニール・ツー)により現地の緊急観測を実施しました。



観測日時: 2010年10月25日午前10時35分頃(日本時間)

上図は災害箇所が確認できた龍郷町秋名付近を拡大したものです。(それぞれ約5km×5kmのエリア)

左: 災害後 (2010年10月25日)

右: 災害前 (2010年 9月14日)

10月25日の画像上に黄枠で示した付近は土砂災害が発生したと考えられる場所で、右の災害前(9月14日)の画像と比較すると山肌に茶色い筋が見られます。なお、取得された画像は内閣官房、内閣府、警察庁、消防庁、防衛省、国土交通省、国土交通省国土技術政策総合研究所、気象庁、海上保安庁、独立行政法人土木研究所等に提供しました。